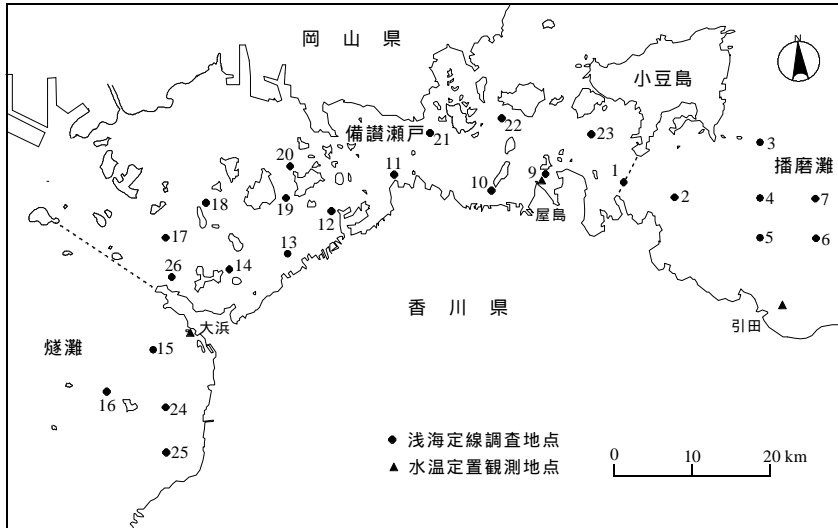


香川県漁海況速報 平成18年 3月 (H17-12号)

香川県水産試験場

1. 海況

1) 観測地点



2) 浅海定線調査

(1) 調査日

平成18年 3月 6日 (播磨灘), 1日 (備讃瀬戸, 燧灘)

(2) 水質概況

平年と比較すると、水温は「平年並みからやや高め」、塩分は「やや高め」、透明度は「やや低めから平年並み」、溶存酸素は「平年並み」であった。

		水温 (°C)			塩分 (PSU)			透明度	溶存酸素 (ml/L)	
		表層	10m層	底層	表層	10m層	底層	(m)	表層	底層
播磨灘	7地点平均値	8.8	8.7	8.7	33.2	33.2	33.3	8.4	6.57	6.42
	平年値	8.7	8.6	8.5	32.7	32.8	32.8	9.4	6.68	6.55
	平年偏差	0.1	0.1	0.2	0.4	0.4	0.4	-1.0	-0.11	-0.13
	状況	平年並み	平年並み	平年並み	やや高め	やや高め	やや高め	平年並み	平年並み	平年並み
備讃瀬戸	14地点平均値	9.3	9.3	9.3	33.4	33.4	33.4	4.7	6.59	6.59
	平年値	8.8	8.7	8.7	32.9	32.9	32.9	5.8	6.45	6.47
	平年偏差	0.5	0.6	0.6	0.4	0.4	0.5	-1.1	0.14	0.12
	状況	やや高め	やや高め	やや高め	やや高め	やや高め	やや高め	やや低め	平年並み	平年並み
燧灘	4地点平均値	9.5	9.5	9.6	33.4	33.5	33.6	7.0	6.77	6.54
	平年値	9.6	9.4	9.3	33.1	33.2	33.2	8.1	6.60	6.35
	平年偏差	-0.1	0.2	0.2	0.4	0.4	0.3	-1.1	0.17	0.20
	状況	平年並み	平年並み	平年並み	やや高め	やや高め	やや高め	平年並み	平年並み	平年並み

平年偏差 = 平均値 - 平年値

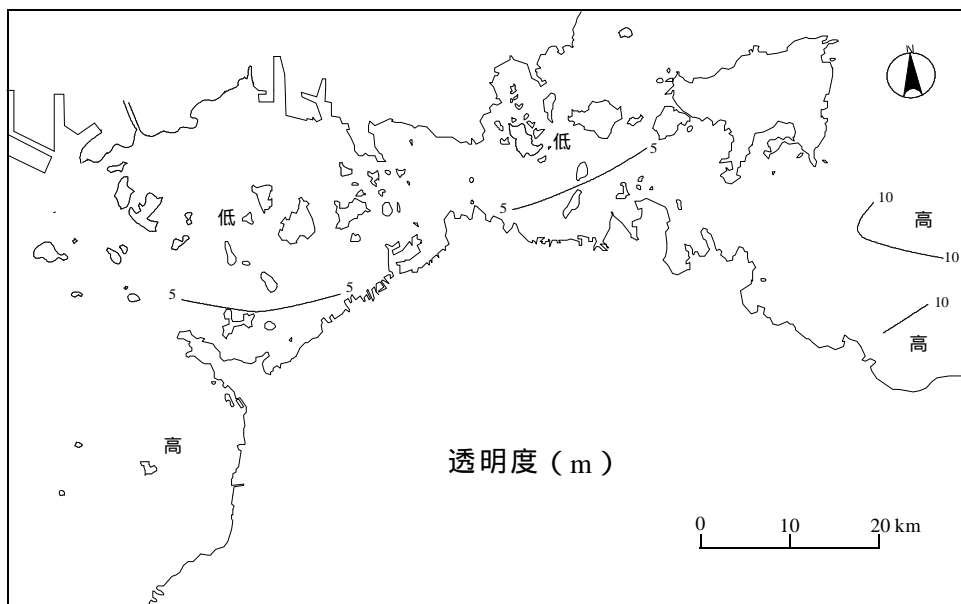
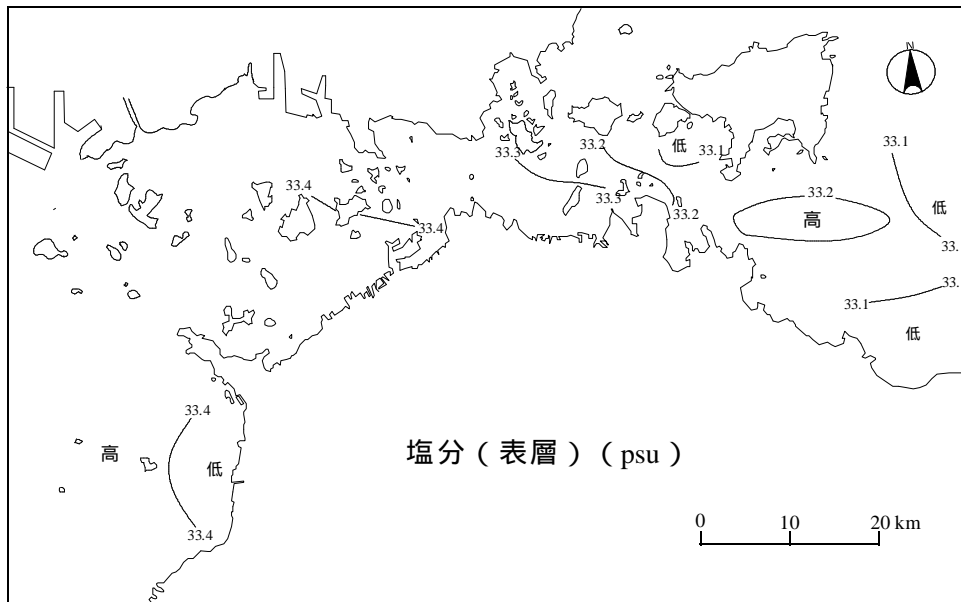
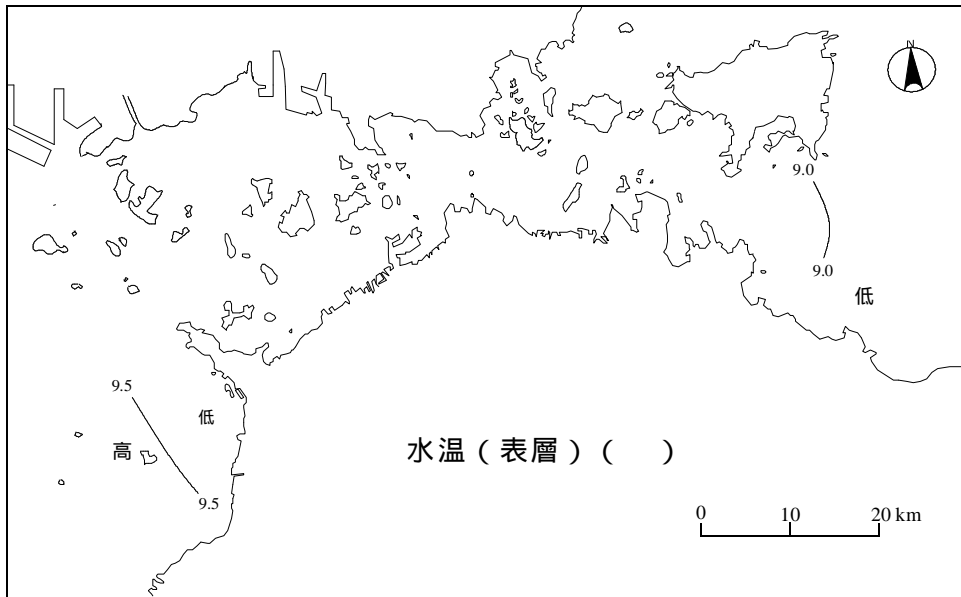
平年値の算出期間

水温, 塩分及び透明度: 昭和48年 (1973) 1月 ~ 平成13年 (2002) 12月

溶存酸素: 昭和48年 (1973) 2月 ~ 平成13年 (2002) 12月

水温は, 毎月1日の値に補正。

平年並み	0	平年偏差 < 0.6	(: 標準偏差)
やや高め (やや低め)	0.6	平年偏差 < 1.3	
かなり高め (かなり低め)	1.3	平年偏差 < 2.0	
著しく高め (著しく低め)	2.0	平年偏差	



2) 定置観測(水温)

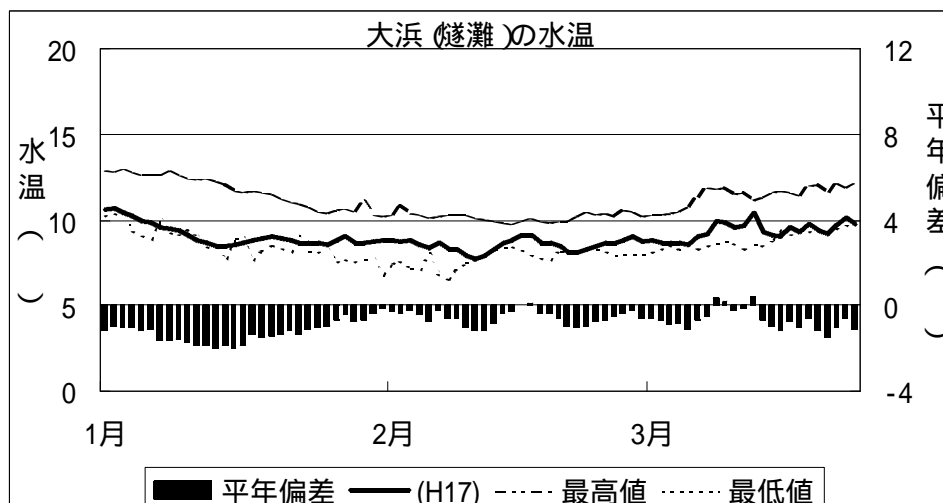
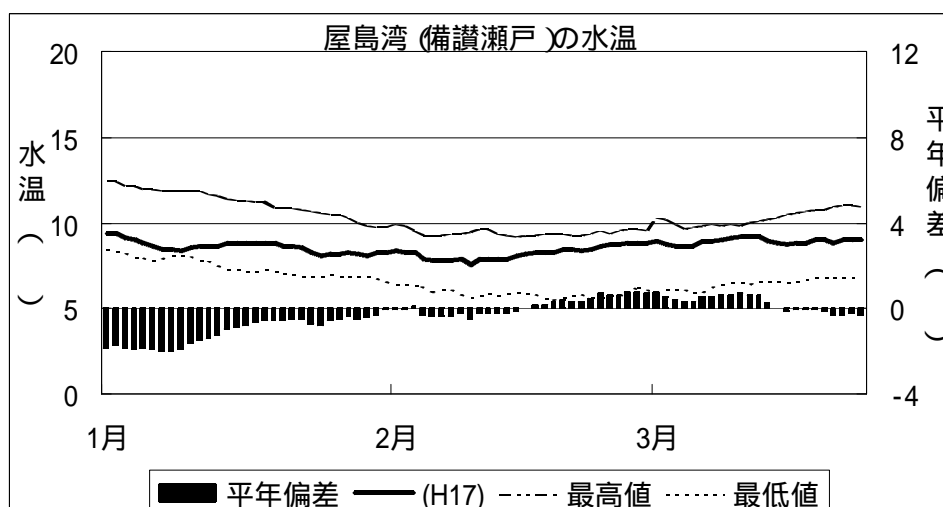
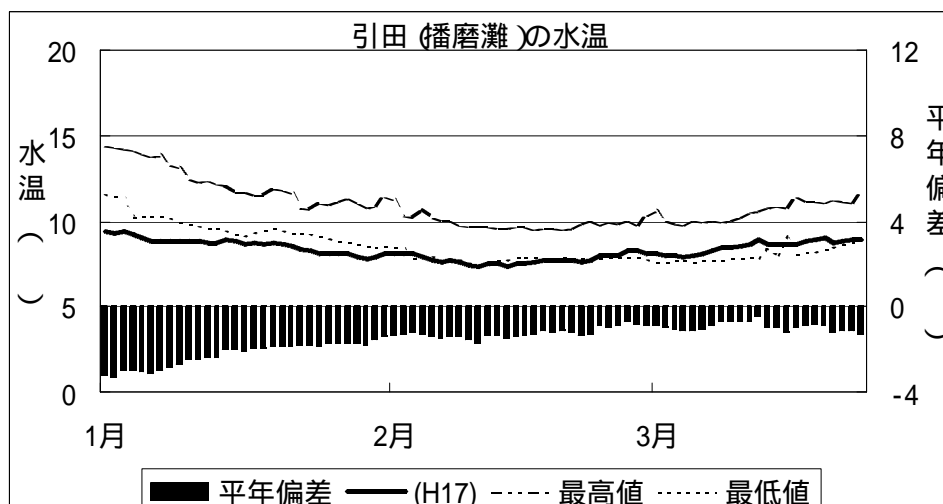
播磨灘(引田): 2月に入り平年偏差が -1.5 前後で推移し,下旬から3月上旬には -0.8 前後に小さくなっていたが,中旬から低下し -1.1 前後で推移している。

備讃瀬戸(屋島): 2月上旬は平年値前後で推移し,下旬から3月上旬には平年偏差が0.7 前後に大きくなっていたが,中旬から小さくなり平年値前後で推移している。

燧灘(大浜): 2月,3月に掛けて,平年値前後から平年偏差が -1.3 前後の間で変動を繰り返し,3月中旬からは -1.3 前後で推移している。

平年値の算出期間 引田及び大浜:平成元(1989)~平成16(2004)年

屋島:昭和50(1975)~平成16(2004)年



3) 赤潮

播磨灘：Eucampia zodiacus の赤潮が発生している。
 備讃瀬戸：Eucampia zodiacus の赤潮が発生している。
 燧灘：発生なし。

4) 卵稚仔

調査日：平成18年3月6日（播磨灘），1日（備讃瀬戸，燧灘）

出現量 個（尾）/曳網

	カタクチイワシ		マイワシ		イカナゴ		その他の魚類	
	卵	稚仔	卵	稚仔	卵	稚仔	卵	稚仔
播磨灘平均	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
備讃瀬戸平均	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.13
燧灘平均	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
総平均	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.07

対平年値

	カタクチイワシ		マイワシ	
	卵	稚仔	卵	稚仔
播磨灘平均	-	-	-	-
備讃瀬戸平均	-	-	-	0.0%
燧灘平均	-	-	0.0%	0.0%
総平均	-	-	0.0%	0.0%

- :平年値が0の場合を示す。

平年値の算出期間

カタクチイワシ：昭和55（1980）～平成16（2004）年度

マイワシ：平成5（1993）～平成16（2004）年度

イカナゴ：昭和55（1980）～平成16（2004）年度

各調査点でカタクチイワシ卵の出現量はなかった。

2. 漁況

2月からの漁況は次のとおりである。

海 域	漁 況
播 磨 灘	底びき網では主にイイダコ，ウシノシタ類，メイタガレイが漁獲されている。
備 讃 瀬 戸	底びき網では主にウシノシタ類，メイタガレイ，イイダコが漁獲されている。 中讃・高松沖のタイラギ潜水器漁業の漁獲量はむき身で100～140kg/日・隻と好調な漁獲が続いているが，価格は安値で推移している。 高松及び庵治沖のイカナゴ込網の2月までの漁獲量は平成3年以降最も多くフルセ主体で前年の約16倍と好漁が続いている。シンコ漁は3月12日から開始された。
燧 灘	底びき網では主にウシノシタ類，マコガレイ，メイタガレイが漁獲されている。